

科目名	電子制御工学ゼミナール	英語科目名	Seminer	
開講年度・学期	平成 24 年度・通年	対象学科・専攻・学年	複合工学専攻電子制御工学コース 1 年	
授業形態	演習	必修 or 選択	必修	
単位数	2 単位	単位種類	学修単位(30+15)h	
担当教員	電子制御工学コース全教員	居室（もしくは所属）	電子制御工学科棟, 専攻科棟	
電話	0285-20-2254（平田）他	E-mail	hirata@oyama-ct.ac.jp（平田）他	
授業の達成目標	授業達成目標との対応			
	小山高専の教育方針	学習・教育目標(JABEE)	JABEE 基準要件	
	電気・電子・情報技術分野の主要な論文、著書および研究成果等を教材として、その論題の技術背景・歴史的背景および解決方法等について教授しかつ論議することにより、新しい技術の研究開発に対応できる資質を育成する。			
	1. 問題意識をもってことに当たり、自らその解決方法を調査・検討できること。	②	A-1O, D-1, D-2, D-3	b, c, f
2. 調査内容に基づいた討論・主張等を展開し、要点を整理する能力を身につけていること。	②	A-1O, D-1, D-2, D-3	b, c, f	
3. 調査結果をまとめ、かつ、他に伝達する能力を身につけていること。	②	A-1O, D-1, D-2, D-3	b, c, f	
各達成目標に対する達成度の具体的な評価方法				
上記事項をテーマに関する教材の輪講等における理解度、発表方法・要領、内容の理論的・技術的背景に関する調査力等の視点から評価する。				
評価方法				
テーマに関する教材の輪講等における理解度、発表方法・要領、内容の理論的・技術的背景に関する調査力等の視点から評価する。				
授業内容	授業内容に対する自学自習項目		自学自習時間	
各指導教員により異なる。	各指導教員の指示による。			
			自学自習時間合計	
キーワード	輪講, 論文 等			
教科書	各指導教員により異なる。			
参考書	各指導教員により異なる。			
カリキュラム中の位置づけ				
前年度までの関連科目	輪講 I, 輪講 II, 卒業研究 その他全科目			
現学年の関連科目	特別研究			
次年度以降の関連科目	特別研究			
連絡事項				
配属された研究室の指導教官の指導の下で、調査・討論・プレゼンテーション等を行う。 ゼミナールの内容は特別研究を遂行する上で基礎となるものであるから、各分野における理論的・技術的背景を理解すると共に、研究へのアプローチを学ぶこと。外国の文献に親しみ国際感覚を身につけることも大切である。				
シラバス作成年月日	平成 24 年 5 月 24 日			